

製品名: インテグリン α 9 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86779**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:115 kDa; Observed MW:140 kDa

抗原情報

遺伝子名	Integrin alpha 9
別名	RLC; ITGA4L; ALPHA-RLC
遺伝子 ID	3680
SwissProt ID	Q13797
免疫原	ヒトインテグリン α 9 の合成ペプチド

背景

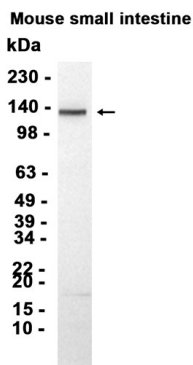
この遺伝子は α インテグリンをコードしています。インテグリンは、 α 鎖と β 鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通型糖タンパク質である。

り、細胞間および細胞とマトリックス間の接着を媒介します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、 $\beta 1$ 鎖に結合すると、VCAM1、サイトタクチン、およびオステオポンチンの受容体であるインテグリンを形成します。この遺伝子の発現は、小細胞肺癌において亢進していることが分かっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



マウス小腸組織抽出物のインテグリン $\alpha 9$ ウサギモノクローナル抗体 (1:3000) を使用したウエスタンブロット分析。